

# 博多駅エリア まちづくりビジョン

～博多のまちにおける建替方針～



博多まちづくり推進協議会  
(博多コネクティッド部会)

*Hakata Station Area  
Town Planning Vision*



## Hakata Station Area Town Planning Vision



## 目次

<b>1.</b>	<b>博多のまちづくりの推進体制について</b>	1
<b>2.</b>	<b>まちづくりビジョンの位置づけ</b>	3
<b>3.</b>	<b>まちづくりビジョン策定の背景</b>	5
<b>4.</b>	<b>博多駅エリアの課題・ポテンシャル</b>	9
<b>5.</b>	<b>博多駅エリアの位置づけ</b>	11
<b>6.</b>	<b>将来像と重点取組方針</b>	13

# 1. 博多のまちづくりの推進体制について

## 博多まちづくり推進協議会について

2008年に設立された博多のエリアマネジメント組織です。住む人、働く人、訪れる人が主役となったまちづくりに取り組むために、博多駅周辺の企業、団体や自治協議会、ならび学識経験者、福岡市で構成されています。魅力ある風格のあるまちにしていくために産官学民が一体となってまちづくりを推進していきます。

### ■ 目的

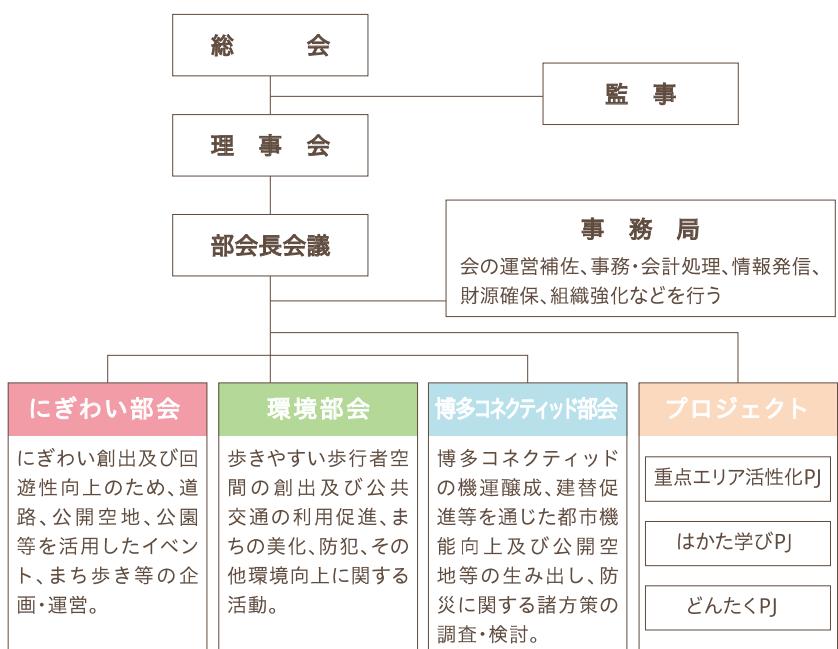
「九州」「アジア」の玄関口である博多駅地区を舞台に、住む人、働く人、訪れる人が主役となったまちづくりを進め、皆に愛され誇れるまち、新たな時代の魅力的な風格のあるまちを創造していく。

### ■ 活動内容

1. にぎわい創出活動
2. 回遊促進活動
3. 安全安心・環境向上活動
4. その他まちづくり活動

### ■ 組織体制

2023年9月末現在、  
184会員から構成される。



## 博多駅エリア発展協議会について

博多駅周辺地区では2019年1月より、博多駅の賑わいと活力をさらに周辺につなげていくプロジェクト「博多コネクティッド」が進められています。

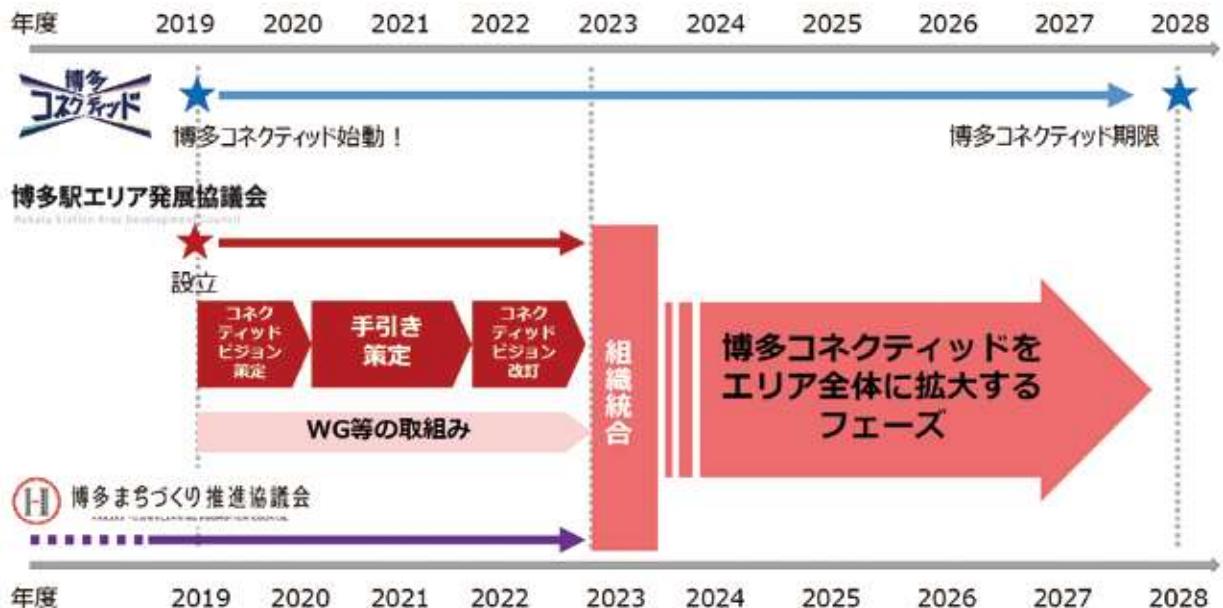
これに呼応し、2019年5月に、博多の発展を自ら担う地権者が集い、博多の未来のまちづくりを考え、都市機能の向上を目指して共に活動する場として「博多駅エリア発展協議会」が発足しました。

博多駅エリア発展協議会では、まちづくりビジョンの暫定版の策定や建替えに伴う都市機能向上の方策についての議論を行ってきました。

## 両協議会の統合について

2023年現在、博多駅エリアでは地下鉄七隈線の延伸や筑紫口駅前広場の再整備、博多駅から伸びるデッキの整備など、回遊性向上に資する交通基盤の拡充が整っています。また、新型コロナの様々な制限も緩和され、人流やインバウンドの戻りが期待されます。

このタイミングで、賑わい創出とビルの建替えを一体となって推進するため、主にソフトを担う「博多まちづくり推進協議会」と、主にハードを担う「博多駅エリア発展協議会」が統合し、ソフト/ハード一体でのまちづくりを加速させていきます。



## ■ 博多コネクティッド部会

博多駅エリア発展協議会は博多まちづくり推進協議会の博多コネクティッド部会として、下記を活動内容に掲げ、福岡市や他の協議会と連携の上、主にハード関連の検討を行うことで、建替え等の推進に取り組んでまいります。

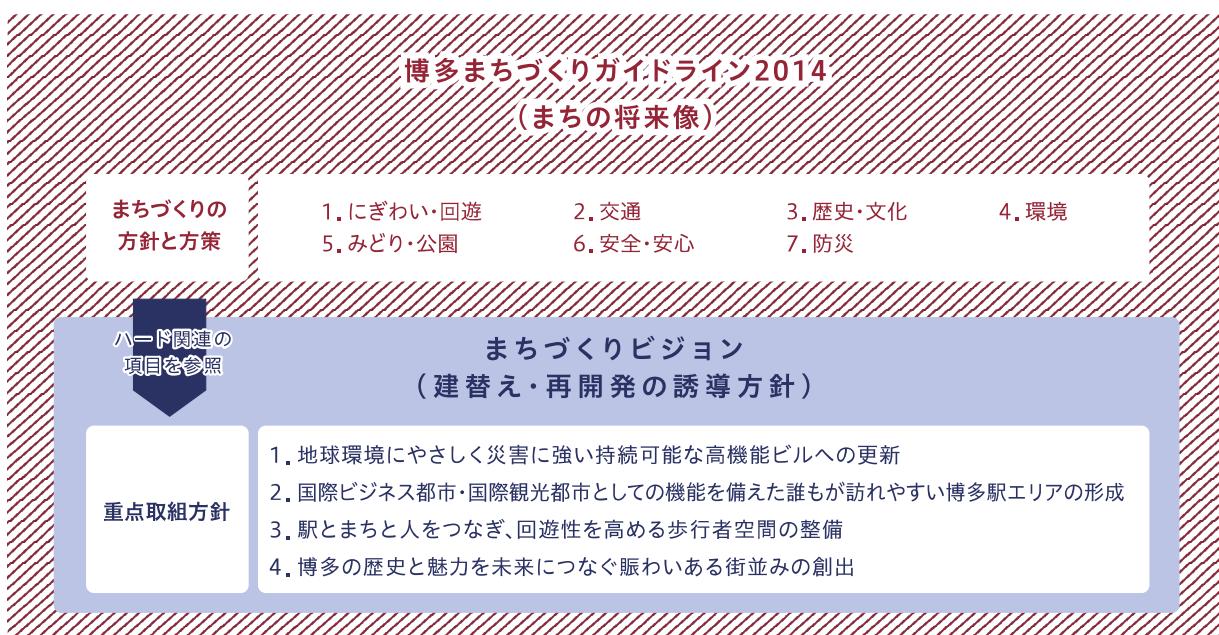
- ・博多コネクティッドを活用した建替え機運の醸成
- ・建替促進等を通じた都市機能向上及び公開空地等の活用方法の検討
- ・防災に関する諸方策の調査・検討

## 2. まちづくりビジョンの位置づけ

博多まちづくり推進協議会では博多のまちの将来像についてワーキングやディスカッションを重ね、将来のありたい姿を描き、建替え等を推進する際の目指す方向性を示すものとして「まちづくりビジョン」を取りまとめました。まちづくりビジョンでは具体的なルールを規定するのではなく、建替え等を計画する事業者がより良いまちづくりに向けた将来像を共有し、建替え等に際し広く活用していただくものとしています。

### まちづくりビジョンと博多まちづくりガイドライン2014との関係

まちづくりビジョンは、博多まちづくり推進協議会が策定した博多まちづくりガイドラインに記載された「まちづくりの方針と方策」のうち、主にハード関連の項目を参照しつつ、博多駅の賑わいと活力をさらに周辺につなげていく「博多コネクティッド」の趣旨を踏まえた整理を行っています。



「博多コネクティッド」はハード・ソフト両面から官民連携による賑わいの創出を推進することとされており、私たち博多まちづくり推進協議会では福岡市や他の協議会、地元関係者等と連携の上、建替え等の推進に取り組んでいきます。



## 博多コネクティッド 2019年1月～

博多駅の活力と賑わいをさらに周辺につなげていくための施策として、2019年1月から始動。博多駅周辺では、九州の陸の玄関口として更なる発展が期待されており、地下鉄七隈線延伸やはかた駅前通り再整備など、交通基盤の拡充とあわせ、容積率などの規制緩和により、耐震性の高い先進的なビルの建替えや歩行者ネットワークを拡大するとともに、歴史ある博多旧市街との回遊性を高めることで、都市機能の向上を図る。

これをハード・ソフト両面から取り組んでいくことで、多くの人が訪れる九州の陸の玄関口である博多駅の活力と賑わいを、さらに周辺につなげていく。

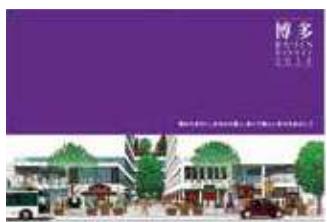


「博多コネクティッド」対象エリア

### ■ 博多まちづくりガイドライン

博多まちづくり推進協議会にて2009年に策定、2014年に改訂。博多のまちのエリアマネジメントを総合的かつ一体的に進めるため、戦略的なまちづくりの指針となるもの。

様々なまちの関係者の方で共有すべき「まちの将来像」と、その実現に向けて進めるべき取組みの「方針と方策」をまとめており、ハード・ソフト両面の取組みが示されている。



<https://hakata-machi.jp/pdf/guideline.pdf>

### ■ アクションプラン

「博多まちづくりガイドライン」に描くまちの将来像を実現するため、概ね3年間で協議会が主体となって重点的に取り組む活動と、その活動を通じて達成したい目標を定めた「アクションプラン」を策定し、まちづくりを推進している。

# 3. まちづくりビジョン策定の背景

かつて、筑紫の地にあった大宰府や鴻臚館は大陸との交流の拠点としての役割を担い、中世に入って博多の港は日宋貿易の要としての機能を発揮しました。その役割は現在にも受け継がれ、博多は陸・海・空の広域的な結節点として存在感をますます高めています。

福岡市においては「天神ビッグバン」を契機とした建替え等が着実に進行するとともに、福岡空港の民間による運営や青果市場跡地の開発プロジェクトが進められてきました。

2023年3月には地下鉄七隈線が博多駅へ延伸し、さらに今後、ウォーターフロントや九大箱崎キャンパス跡地等、博多を取り巻くエリアで、大規模開発が動き出そうとしています。

「アジアのリーダー都市」を目指す福岡市においては、博多は将来にわたって、九州・福岡の玄関口として交流の拠点の役割を担っていかなければなりません。

一方で、現在の博多のまちには必要な機能が不足しており、今後の都市間競争において世界から選ばれるまちとなるためには、博多駅エリアの各街区がその特性を活かしながら、都市機能を絶えず更新させていくことが不可欠です。

今回策定するまちづくりビジョンという大きな目標像のもと、その時々の社会状況の変化や技術の進歩に応じた個々の建替え等の動きが連鎖することで、博多駅エリアのまち全体として、SDGs等の理念を踏まえた社会的な課題の解決や都市の持続可能性向上を実現するまちづくりを進めていきたいと考えています。

## 博多駅を中心としたまちの歴史

福岡市の陸の玄関口である博多駅は、1889年(明治22年)12月11日に現在の博多駅より北西約650mに位置する出来町公園付近に、九州で初めての鉄道駅として開業しました。



初代博多駅 1889年(明治22年)～

以来福岡市の発展に伴い、博多駅においては、駅設備の老朽化や狭い駅前広場の混雑、踏切の交通障害が発生するなど、経済活動上著しい障害となっていました。このため、駅と線路を移転し高架化させることが適切と考えられ、1957年度(昭和32年度)から1978年度(昭和53年度)にかけて博多駅地区土地区画整理事業が行われ、この間、1963年(昭和38年)12月に博多駅が現在地へ移転、開業しました。



二代目博多駅 1909年(明治42年)～

これにより、田畠も見られた博多駅周辺は都心の新しい業務地域として成長することとなりました。そして、2011年(平成23年)の九州新幹線全線開業や新博多駅ビルの開業などにより、博多のまちの「九州・アジアとの交通結節点」としての役割はますます大きくなっています。地下鉄七隈線延伸や九州新幹線西九州ルートの開業などにより、さらに高い集客力とにぎわいを持つまちへ発展していくことが考えられます。



三代目博多駅 1963年(昭和38年)～



四代目博多駅 2011年(平成23年)～

## 上位・関連計画・施策等

博多駅エリアの位置づけ・役割を把握するため、全市的な上位計画や、博多駅エリアにおける建替え等の推進に特に関連の深い関連計画・施策について示します。

### ■ 福岡市都市計画マスタープラン 2014年5月

博多駅周辺は「天神」「博多ふ頭・中央ふ頭」とともに福岡都心部の「核」に位置付けられている。

#### 《地域別構想「都心部編」：

##### 土地利用の基本的な方針【博多駅及び博多駅周辺】

- 広域交通の拠点である博多駅の利便性を活かし、国際的な広域業務の中心として、業務とともに商業機能の高度化を進め、さらに、行政、居住などの都市機能の充実を図る。
- 博多駅の交流広場や、歴史・文化などの魅力を活かして回遊性や集客力の向上を図る。
- 公共交通の乗り継ぎやすさや案内サービスの向上などにより、国内外からの来街者や幅広い年齢層の人々にやさしいまちづくりを進める。



博多区の将来像図(博多駅周辺を抜粋)



都心部の将来の都市構造

#### 《区分構想「博多区編」：【都心核(博多駅)】まちづくりの視点》

- 高度な機能集積に対応したゆとりのある歩行空間の確保
- 幹線道路に面していない街区の有効利用の促進
- 地上と地下のネットワークの形成
- 建物内外のゆとり空間の確保
- 博多駅周辺の交通結節機能の強化
- 福岡の顔にふさわしい景観・緑の創出とオープンスペースの確保
- 観光バス交通の処理(乗降場の確保)

### ■ 都市再生緊急整備地域、特定都市再生緊急整備地域 2012年1月

博多駅周辺は、都市再生緊急整備地域(福岡都心地域)及び特定都市再生緊急整備地域(福岡都心地域)において『博多駅周辺地区』に指定され、地域整備方針が定められている。

#### 《福岡都心地域の整備目標》

- 商業・業務・交通・観光などの視点から地区の特性を高め、質の高い都市型産業の集積や交流・おもてなしの場として、国際競争力の強化に資する都市機能の中核拠点を形成
- 大規模災害の発生に備え、人的・経済的被害の抑制や、基本的な都市機能の安定的な確保に配慮し、災害に強い都市を形成

#### 《「博多駅周辺地区」：

##### 増進すべき都市機能、公共・公益的施設の整備及び管理に関する事項》

- 業務・商業・交流・情報発信など、質の高い都市機能を強化
- 駅周辺の回遊性確保や円滑な交通処理に資する交通結節機能の強化
- 多様な交通機能の集積を活かした駅周辺の回遊性向上に資する地上・地下ネットワークの充実・強化
- 更新期を迎えた公共施設の建替更新を図り、都市基盤、都市機能の強化を図り、その継続性確保を促進



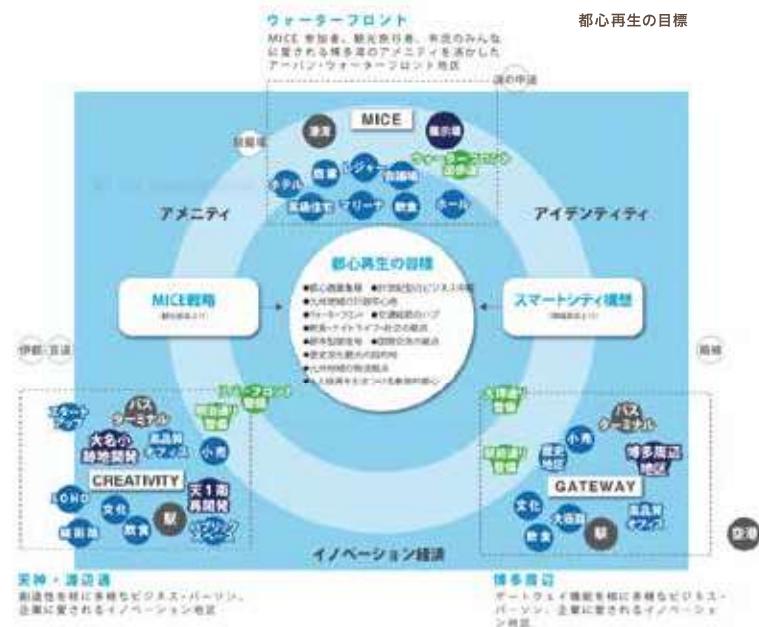
福岡都心地域

## ■ 都心再生戦略／福岡地域戦略推進協議会(FDC) 2013年6月

福岡地域戦略推進協議会(FDC)は、福岡の新しい将来像を描き、地域の国際競争力を強化するために成長戦略の策定から推進までを一貫して行う、産学官民一体のシンク＆ドゥタンク。

都心再生戦略は、地域戦略の推進には成長の源泉を再構築するために「革新的・創造的な場をつくる」ことが不可欠と考え、都市圏経済のエンジンである都心に焦点を当てて策定された。

都心再生の目標は、各地区の空間と産業の個性・強みを踏まえて、地区間で競合し合うのではなく、差異を明確化して価値を創造することを目指し、これらの強みを伸ばす視点から設定されている。



## ■ 博多まちづくりガイドライン／博多まちづくり推進協議会 2009年、2014年改訂

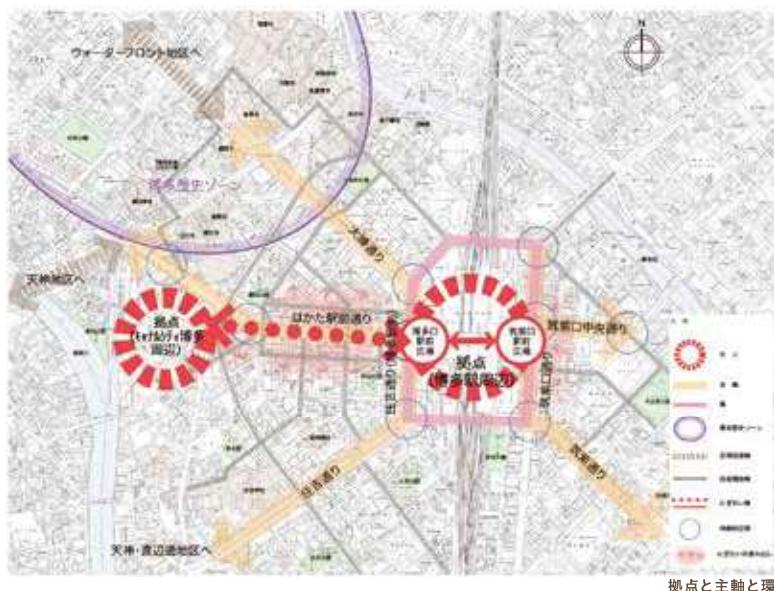
博多のまちの主要な構成要素である拠点・軸と環・ゾーンについて、それぞれの将来像やまちづくりの方針・方策が示されている。

### 《拠点の将来像：博多駅周辺 交通手段が結節し、人々が行き交いにぎわう「九州・アジアの玄関口」》

- 九州新幹線や地下鉄をはじめ、様々な交通手段が結節し、多くの人々が行き交う、九州最大の拠点。
- 大規模なオフィスビルや商業施設の建設・改修により、にぎわいと風格のある「九州・アジアの玄関口」となる。
- 各種交通手段が結節する見通しがよい駅前広場は、まちを訪れる多くの人にぎわい、駅からまちへ安心して出ていくことのできる空間となる。

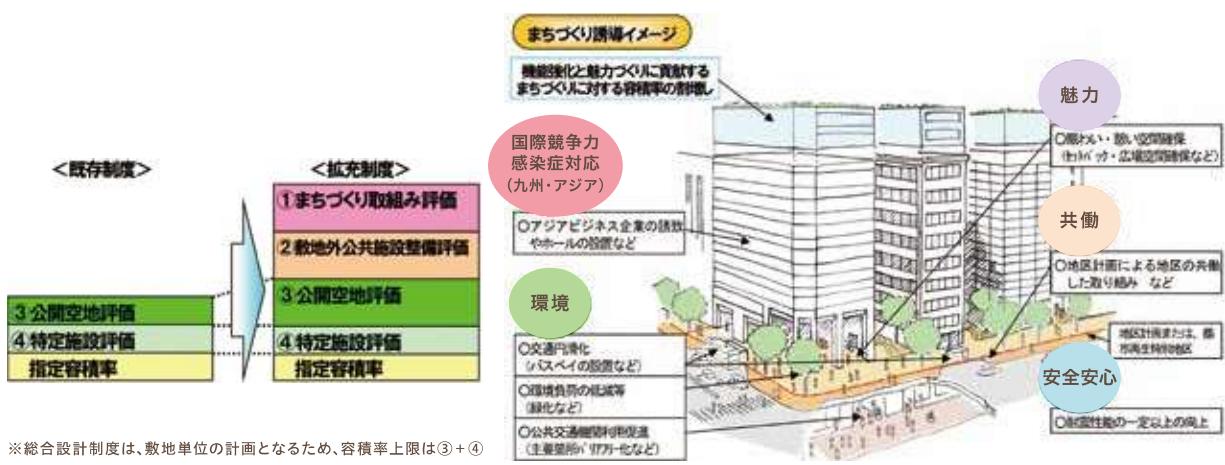
### 《ゾーンの将来像：ビジネス・商業ゾーン(働きたいまち)》

- 博多駅に接するゾーンは、博多駅の交通結節機能を活かした、アジアに開かれた国際ビジネス機能や西日本の中枢をなすビジネス機能が集積するまちとなります。
- ビジネスパーソンが利用しやすい魅力的な商業施設や飲食店などが充実し、ランチタイムやアフターファイブも楽しめるまちとなります。
- 大規模な商業施設や文化施設などが増加し、平日だけでなく休日も、男性だけでなく女性やカップル、ファミリーなどでにぎわうまちとなります。



## ■ 都心部機能更新誘導方策 2008年8月、2023年2月改定

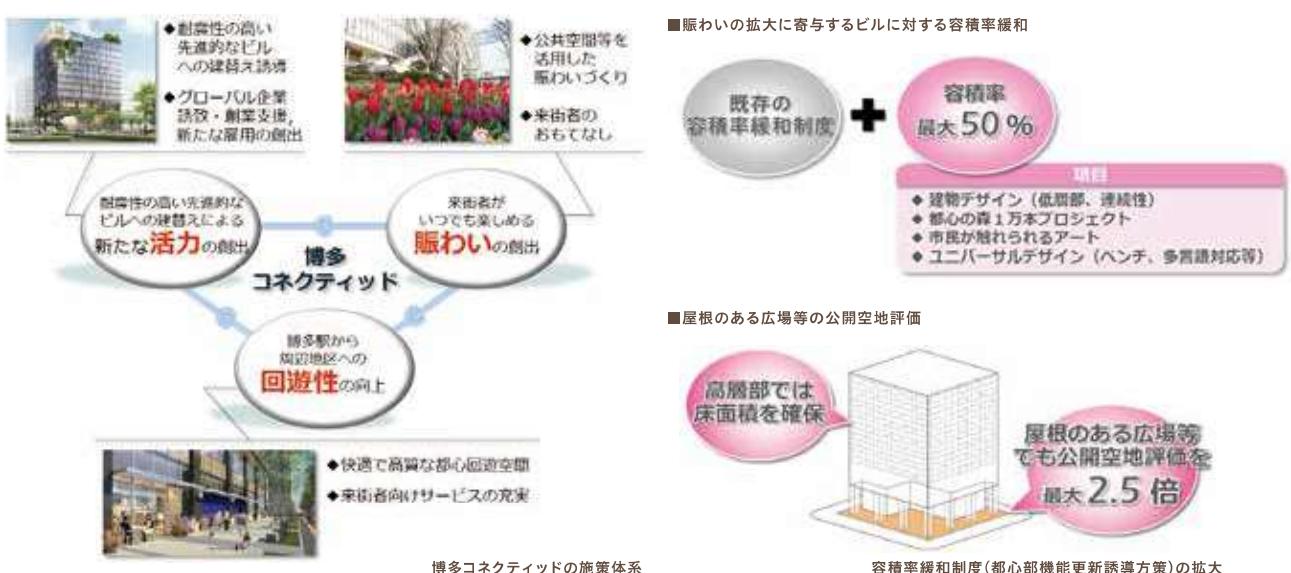
都心部の更なる機能強化と魅力づくりを推進するため創設された福岡市独自の容積率の緩和制度。地区計画(再開発等促進区)、都市再生特別地区、総合設計制度(都心部機能更新型)の3制度を、容積率の特例を付与する都心部機能更新型容積率特例制度としている。これまでの総合設計制度等による公開空地積上型の評価に加え、国際競争力・感染症対応(九州・アジア)、環境、魅力、安全安心、共働をキーワードとした「まちづくり取組評価(最大400%)」、都心部の課題である交通環境の改善を推進するため、「敷地外公共施設整備評価」を創設。



## ■ 博多コネクティッドボーナス 2019年5月～

『博多コネクティッド』の一環として創設された、更新期を迎えたビルの建替えを促すインセンティブ制度。容積率緩和制度(都心部機能更新誘導方策)の拡大により、10年間で20棟の建替え誘導を目標に、耐震性の高い先進的なビルへの建替えを一層促進することとされている。

- ① 緑豊かな憩い空間の創出に向け、樹木の植樹や、パブリックアートの設置、ユニバーサルデザインなど、賑わいの拡大に寄与するビルに対し、容積率を最大50%加算
- ② 賑わいや回遊をさらに生み出す観点から、屋根のある広場等でも公開空地評価を最大2.5倍に



# 4. 博多駅エリアの課題・ポテンシャル

「福岡市都心部機能更新誘導方策」のまちづくり取組みの各分野に沿って、博多駅エリアの現況の課題・ポテンシャルを整理しました。

## 国際競争力・感染症対応 (九州・アジア)

九州・アジアの中で国際競争力のある個性を持つ都心部の再生、感染症対応  
～機能強化と魅力づくりを育成・リードする用途の設置運営・感染症対策に資する機能の導入～

### ▶ 課題

- ・国際競争力を下支えする都市機能の不足
- ・建物の老朽化、空港近接による建物高さ制限
- ・国内外からの企業進出の受け皿の不足、  
ビジネスパーソンや来街者向けの施設の不足

### ▶ ポテンシャル

- ・広域ターミナル拠点としての優位性
- ・空港、港からのアクセスが良い
- ・企業進出の機運、福岡都心の核・観光拠点としての期待
- ・博多駅の集客力、商業・業務機能の集積

## 環境(交通)

都心環境・地球環境に配慮した持続可能な都心部の構築

～交通環境の改善に寄与する施設設備～

### ▶ 課題

- ・駅から周辺のまちへの回遊性に乏しい  
(階段などの段差が多い、幹線道路による分断等)
- ・地下空間や地下 ⇄ 地上の出入口がわかりづらい
- ・放置自転車や幹線道路沿いの駐車場出入口

### ▶ ポтенシャル

- ・地下鉄七隈線の延伸、九州新幹線西九州ルート等、  
陸のゲートウェイとしての機能強化
- ・駅周辺の歩行者空間、はかた駅前通りの再整備や  
筑紫口駅前広場再整備等のインフラ整備

## 魅力

豊かな歴史・文化に裏打ちされ、緑豊かで魅力ある都心部の創造

～賑わい・憩いの創出、地域資源の活用～

### ▶ 課題

- ・博多らしい都市景観や空間に乏しい  
業務施設が多いエリアでは賑わいに欠ける
- ・人が滞留・休息できる場所が少ない
- ・景観の統一感や潤いある景観の不足

### ▶ ポтенシャル

- ・駅周辺に駅前広場や公園等のパブリックスペースが  
点在し、公開空地の整備や利活用が進みつつある
- ・博多旧市街エリア等の歴史的資源がある
- ・界隈性のある副軸

## 環境 (エコ)

## 安全安心

都心環境・地域環境に配慮した持続可能な都心部の構築 ～環境負荷の低減等を図る施設整備～

地震等の災害に強く、安全安心な都心部の形成 ～災害に強い都市構造に寄与する施設設備～

### ▶ 課題

- ・建物の老朽化によるエネルギー効率の低下や  
耐震性不足等の安全性の低下
- ・災害時等における環境・防災対策
- ・脱炭素やDX、SDGs等、世の中の変化への対応

### ▶ ポтенシャル

- ・博多まちづくり推進協議会等による防災活動
- ・都市再生安全確保計画の策定等、まち全体としての  
取組みや帰宅困難者退避施設の整備等
- ・緊急浸水対策事業(レインボープラン)の完了

## 共働

地域・企業等多様な担い手と行政が共働する都心部のエリアマネジメントの充実

～街区相当以上の範囲でのまちづくり計画策定～

### ▶ 課題

- ・建物の老朽化具合や開発機運のばらつき
- ・地権者間の合意形成
- ・建替えの手法や公共空間の利活用に関する  
ノウハウの展開

### ▶ ポтенシャル

- ・駅周辺におけるエリアマネジメント活動の充実
- ・まち協と博多エリア発展協議会の統合による建替え機運の醸成
- ・博多コネクティッド等のインセンティブ
- ・FDC・天神の協議会(WLT・MDC)との連携

## 国際競争力 感染症対応 (九州・アジア)

令和4年度 本社機能・成長分野の企業立地実績：65社（雇用2,157人）

■立地企業数と雇用者数の推移

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	R4年度
立地企業数	53社	52社	62社	68社	57社	57社	53社	50社	65社
雇用者数	2,366人	1,250人	2,213人	2,989人	1,041人	1,354人	1,058人	665人	2,157人

(分野別立地企業数)

クリエイティブ関連産業	18	18	33	28	40	38	38	30	41	47社
ショールセンター	7	7	8	12	9	7	2	8	8	6社
健商・医療・福祉	0	2	2	2	1	1	1	1	2	2社
農業・エキスポート	7	5	1	0	0	0	0	1	1	0社
物流関連	9	8	12	1	1	2	3	3	3	5社
その他	12	12	6	15	6	9	9	7	9	5社
計	53	52	42	58	57	57	53	50	61	65社

圧倒的な  
ビジネス環境

### 国内線

390便/日  
東京～羽田:56往復/日

### 国際線

17路線  
724便/週

## 環境(交通)



## 魅力



はかた夏まつり(博多駅前広場)



はかたI-E!ストリート(筑紫口中央通り)



博多旧市街ライトアップウォーク(承天寺)

## 環境 (エコ)

## 安全安心



博多区新庁舎  
(ZEB Ready取得・免震構造)



博多イーストテラス  
(緑化広場)  
撮影者:川澄・小林研三写真事務所



帰宅困難者退避施設  
(JRJP博多ビル地下2階広場)

## 共働



博多まちづくり推進協議会によるエリアマネジメント活動(クリーンデイ・打ち水)



他協議会との連携(福岡都心再生サミット)

## 5. 博多駅エリアの位置づけ

「福岡市都市計画マスターplan」や「特定都市再生緊急整備地域」において、博多駅周辺地区は天神・渡辺通地区、ウォーターフロント地区（博多ふ頭、中央ふ頭）と並び3つの都心核の1つに位置付けられています。

博多駅は山陽新幹線や九州新幹線をはじめとする鉄道、地下鉄、バス等の交通網が結節した陸のゲートウェイであるとともに、博多港や福岡空港にも直結しており、多くの市民が日常的に利用するターミナル駅であることはもちろんのこと、福岡・博多だけでなく、九州の玄関口として国内外の人々が往来し都市活動を行う、国際ビジネス観光拠点としての役割を担っています。

福岡地域戦略推進協議会（FDC）の「都心再生戦略」では、博多周辺は“ゲートウェイ機能を核に多様なビジネスパーソン、企業に愛されるイノベーション地区”と位置付けられています。地下鉄七隈線の延伸や、九州新幹線西九州ルートの開業等、陸のゲートウェイとしての役割がますます強化されるとともに、九大箱崎キャンパス跡地などにおける大規模開発が進展していく中、これらの博多駅エリアの位置づけ・役割を踏まえ、福岡・九州を牽引する都市核として成長していくことが求められています。





# 6. 将来像と重点取組方針

まちづくりビジョン策定の背景(歴史、上位・関連計画等、課題・ポテンシャル)や、博多駅エリアの位置づけなどを踏まえ、博多駅エリアのまちの将来像と重点取組方針を整理しました。

博多駅エリアのまちの将来像の実現、および建替え等を通じた博多コネクティッドの実現に向けて特に重点的に取組みを検討していく項目として、「博多コネクティッド」の施策体系、「都心部機能更新誘導方策」のまちづくり取組みの各分野を考慮し、4つの重点取組方針を策定しました。

歴史、上位・関連計画等

課題・ポテンシャル

博多駅エリアの位置づけ

## ● 将来像

### 「九州・アジア・世界」と「未来」につながる HAKATA GATEWAY

~九州・アジア・世界の人々が博多で出会い・つながる ひと中心の開かれたまち~

## ● 重点取組方針

### 重点取組方針 1

地球環境にやさしく災害に強い  
持続可能な **高機能ビル**への更新

### 重点取組方針 2

国際ビジネス都市・国際観光都市としての機能を備えた  
誰もが訪れやすい博多駅エリアの形成

環境(エコ)

安全安心

耐震性の高い  
先進的なビルの  
**新たな活力の創出**

国際競争力  
感染症対応  
(九州・アジア)

環境(交通)

博多駅から  
周辺地区への  
**回遊性の向上**

来街者が  
いつでも楽しめる  
**賑わいの創出**

魅力

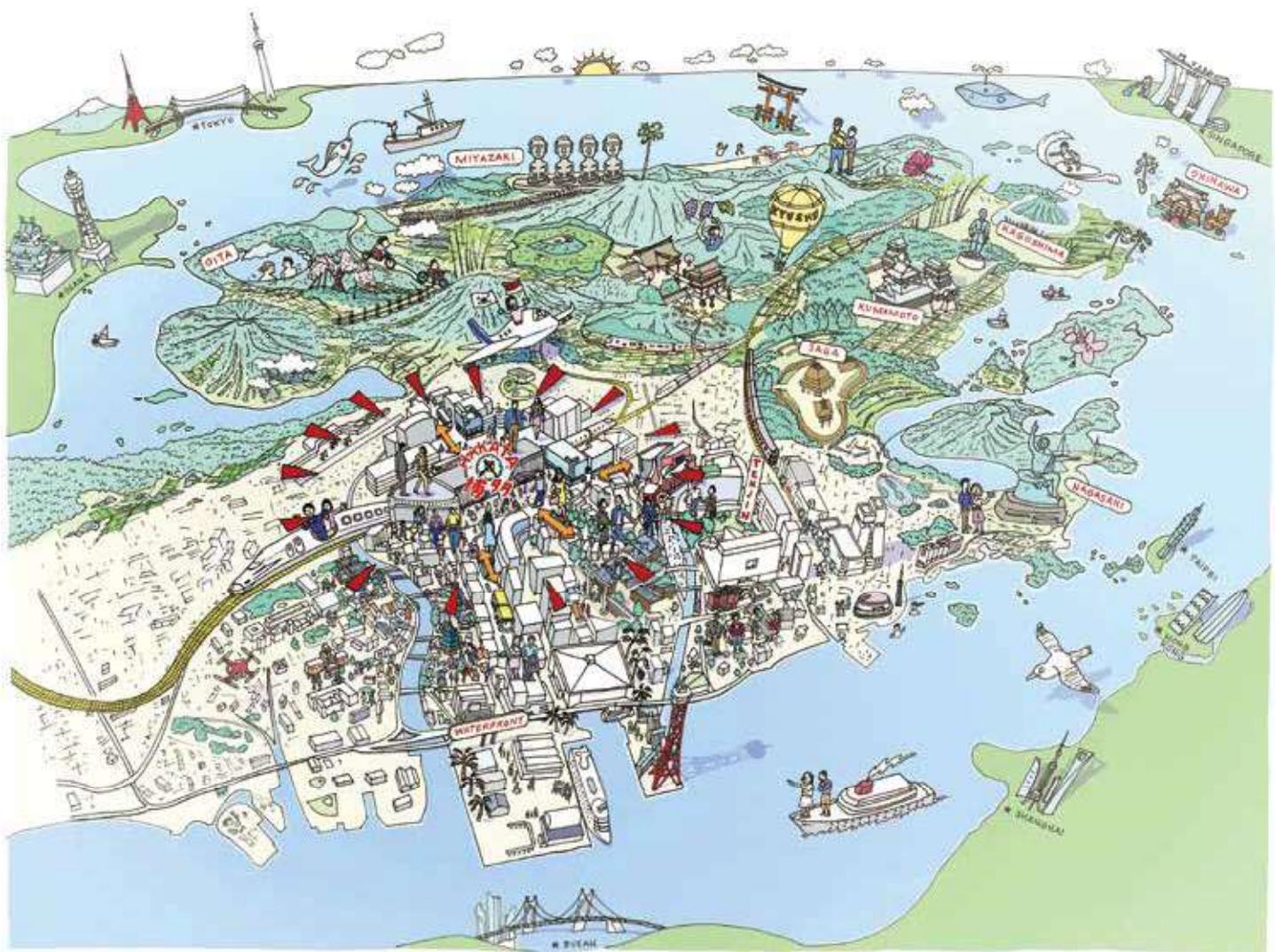
### 重点取組方針 3

駅とまちと人をつなぎ、  
回遊性を高める歩行者空間の整備

### 重点取組方針 4

博多の歴史と魅力を未来につなぐ  
**賑わいある街並みの創出**

## まちのイメージ



# 重点取組方針 1

地球環境にやさしく災害に強い  
持続可能な**高機能ビル**への更新

## この取組みにより目指すまちの姿

- 環境や防災に配慮した取組みにより、立地特性や交通結節機能が集積する強みを活かせるまち
- 時代の潮流に合わせた持続可能な都市環境の形成により、世界から選ばれるまち



## 重点取組方針1におけるポイント

### ポイント1

#### 多くの人が集まる拠点として、安全・安心に過ごせる環境・防災性能に優れた空間の整備

##### 検討項目

- 耐震化やBCP等に配慮した建物への更新
- 災害時の業務継続等に必要なエネルギー対策
- 帰宅困難者受け入れスペースや備蓄の確保など
- 感染症・災害対応だけでなく、平時の利便性・快適性向上に資するテクノロジーの実装(DX、スマート化) など

### ポイント2

#### 次世代に引き継ぐ、ひとと地球にやさしく持続可能な都市環境の形成

##### 検討項目

- CASBEE等環境に配慮した建物への更新、効率的なエネルギー利用
- ESG企業や海外企業に訴求する、国際的な環境認証取得や再生可能エネルギー由来電力等の導入
- 低炭素型工法や木質材料の採用、建物のZEB化やエネルギーマネジメントシステムの導入等、建物のライフサイクル全体を通じた脱炭素化に向けた取り組み
- 人々のウェルビーイングを高める、多様で潤いにあふれた緑の充実 など



## 重点取組方針 2

**国際ビジネス都市・国際観光都市としての機能**を備えた  
誰もが訪れやすい博多駅エリアの形成

### この取組みにより目指すまちの姿

- 九州・アジア・世界との交流人口を拡大し、福岡・博多を訪れる人々を迎える玄関口にふさわしいまち
- ビジネスや観光など様々な目的で人々が集まり交流する、福岡・九州の成長を牽引する活気あるまち



### 重点取組方針 2 におけるポイント

#### ポイント 1

##### 国内外からビジネスパーソンや来街者を呼び込む国際ビジネス・国際観光機能の導入

###### 検討項目

- 高質、高付加価値なオフィスや多様な働き方に応える空間
- ハイクオリティホテルや様々なニーズに応える滞在機能
- 高質な賑わい・商業・イノベーション施設
- ホール、バンケット等のMICE 支援機能
- 外国人向けの生活・来街支援施設
- 抱点にふさわしい情報通信・セキュリティ環境の整備
- 国際金融機能誘致に向けた取り組み など

#### ポイント 2

##### 九州・博多の玄関口にふさわしい ゲートウェイ機能の導入

###### 検討項目

- 博多駅と九州各地を結ぶ文化・交流・情報発信機能
- 交通結節・観光インフォメーション機能
- 多様な来街者の憩い・休息の場となる空間、Free Wi-Fiの設置
- 誰にでもわかりやすく、ユニバーサルデザインに配慮した空間
- サインコードの統一、多言語対応 など



## 重点取組方針 3

駅とまちと人をつなぎ、回遊性を高める歩行者空間の整備

### この取組みにより目指すまちの姿

- 駅からまちへ、まちからまちへ、誰でも快適・安全に移動ができるインクルーシブな回遊空間が形成されたまち
- 歩行者空間に新たな魅力を付加し、楽しく歩きたくなるまち
- 駅から目的地に向けて分かりやすくスムーズに移動できるまち



### 重点取組方針 3 におけるポイント

#### ポイント 1

##### 回遊性を高める歩行者空間の整備

###### 検討項目

- 立体的な歩行者回遊空間
- 既存地下空間との接続、地上と地下をつなぐ空間
- 既存の歩行者空間回遊動線の強化、ネットワークの拡大
- 地下空間の美装化、センサー設置等のスマート化
- 貫通通路等の通り抜け空間
- 博多らしい路地空間等を再現した屋内外の歩行者空間
- ほこみち等の制度活用による歩行者の滞留・賑わい空間の拡張 など



#### ポイント 2

##### 快適で安全な歩行者空間の整備

###### 検討項目

- セットバック等によるゆとりある歩行者空間の確保
- 縦動線の可視化やサイン等、誰でも分かりやすい空間整備
- 段差の解消等のバリアフリー対策
- 主要な幹線道路における駐車場出入口の設置抑制
- サイクルポスト(路上駐輪場)の集約、駐輪場利便性向上
- シェアサイクルやパーソナルモビリティ等、新たな交通モードへの対応
- バス停周辺の滞留空間の確保やベンチの設置等
- 複数の交通モードをつなぐ乗換え利便性向上のための取組み など



## 重点取組方針 4

博多の歴史と魅力を未来につなぐ**賑わいのある街並み**の創出

### この取組みにより目指すまちの姿

- 来街者がいつでも楽しめる、賑わいと趣ある魅力的な街並みが形成されたまち
- 通り毎の特徴に応じて、賑わいや潤い、落ち着き、界隈性、歴史等、博多のまちを象徴する景観が形成されたまち
- 駅とまちがひとつながりに感じられ、駅の賑わいがまちに広がっていくまち



### 重点取組方針4におけるポイント

#### ポイント 1

##### 通り毎の特徴に応じた景観の形成

###### 検討項目

- 通り毎の特徴に応じた低層部への賑わい機能の導入
- 連続性のある街並み、博多らしい景観の形成（博多旧市街などの歴史を活かす／新たなまちのイメージを喚起）に向けた通り毎のブランディング
- 博多の顔となるシンボリックな空間、特徴的なファサード
- 歩行空間の高質化
- 新たな樹木の植栽、四季が感じられる花壇等の整備
- 九州・博多ならではのデザイン、アート等による彩りのある景観形成など



#### ポイント 2

##### 賑わい・憩い・安らぎを創出する広場空間の整備

###### 検討項目

- イベント等による賑わい創出が可能な広場空間の整備
- 多世代が利用でき、日常的な憩いの場となる居心地のよい街角広場、ポケットパーク等の滞留空間・緑陰空間整備
- 公園や既存の広場等、周辺とのつながりに配慮した連続的な空間整備
- 広場と歩行空間の一体的な利用、ベンチの設置など





画像提供・出典

福岡市  
博多まちづくり推進協議会  
福岡地域戦略推進協議会(FDC)  
株式会社 エスエス 九州支店  
九州旅客鉄道株式会社  
博多駅史85年のあゆみ  
九州の鉄道100年記念誌「鉄輪の轟き」

制作協力

株式会社 日建設計

発行

2023年4月

博多まちづくり推進協議会(博多コネクティッド部会)

お問い合わせ

博多まちづくり推進協議会事務局

〒812-8566

福岡県福岡市博多区博多駅前3-25-21

九州旅客鉄道株式会社 開発部 博多まちづくり課内

電話番号:092-474-7243

E-mail:hakatamachikyou@jrkyushu.co.jp

URL:<https://hakata-machi.jp/>

＼会員募集中／



博多まちづくり推進協議会ホームページ